

心豊かな青少年を育む

県民のつどい

in 真岡市

元大相撲力士

寺尾 常史 氏しころやま(鍛山親方)講演

「私の相撲人生」

平成30年

入場無料

日時

10月28日(日) 13:30~16:10
(開場13:00)

会場

市民“いちご”ホール

(真岡市民会館) 真岡市荒町1201 TEL0285-83-7731

第1部

13:30~14:00

- 開会行事
- 第68回「社会を明るくする運動」作文コンテスト優秀者作文朗読
- 第41回栃木県少年の主張発表県大会最優秀賞受賞者主張発表

第2部

14:10~14:40

栃木県立真岡工業高等学校音楽部
栃木県無形民俗文化財 大日堂獅子舞・舞台発表

第3部

14:50~16:10

講演「私の相撲人生」
元大相撲力士 寺尾 常史 氏(鍛山親方)

展示

ロビー

- 2018「家庭の日」絵日記コンテスト作品展示
- とちぎの元気な子ども育て隊!!宣言活動事例展示
- 真岡市紹介

主催

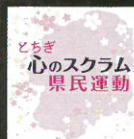
栃木県、栃木県教育委員会、栃木県警察本部、
栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団)
真岡市、真岡市教育委員会

後援

主 人 生 は 心 が 育 ま れ て 生 活 し て い け る “社会を明るくする運動”栃木県推進委員会、
(一社)栃木県子ども会連合会、栃木県PTA連合会、
栃木県青少年指導センター連絡協議会、栃木県青少年指導員会連絡協議会、
栃木県青少年育成指導員会、栃木県青少年育成アドバイザー会、
栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会、栃木県更生保護女性連盟、
栃木県地域婦人連絡協議会、栃木子どもの本連絡会、栃木県保護司会連合会

問い合わせ

栃木県青少年育成県民会議((公財)とちぎ未来づくり財団青少年育成課)
宇都宮市本町1番8号 栃木県総合文化センター内 TEL 028-643-1005 URL <http://www.tmf.or.jp/>



明日の“とちぎ”を担う青少年が、夢と希望を持って心豊かでたくましく成長できるよう、家庭、学校、職場、地域などが相互に連携・協力を図りながら、県民総ぐるみで青少年の健全育成を推進していきましょう。

「毎月第3日曜日は
ふれあい育む「家庭の日」」

「家庭の日」にはこんなことを、家族で…

- 普段のことを話し合しましょう。
- 家族と一緒に食事をしましょう。
- 自然に親しみましょう。
- みんなで地域行事に参加しましょう。
- 良い本を読んで、感想を述べ合ってみましょう。
- 家族で美術館や博物館などに出かけましょう。



家庭の日

“社会を明るくする運動”作文コンテストとは

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場から力を合わせ、犯罪や非行のない明るい地域社会を築こうとする全国的な運動で、今回で68回を迎えます。

“社会を明るくする運動”作文コンテストは、次代を担う小・中学生の皆さんに、日常の家庭生活、学校生活の中で、体験したことを基に、犯罪や非行などに関して考えたことや感じたことを作文に書くことを通じて、本運動に対する理解を深めることを目的として平成5年から実施し、今年で26回となります。

(主催/“社会を明るくする運動”栃木県推進委員会)

「栃木県少年の主張発表大会」とは

「少年の主張」は全国で55万人の中学生が参加する意見発表大会です。県内では8～9月に地区大会が、9月下旬に地区代表による県大会が行われます。県大会の最優秀賞受賞者は11月の全国大会に参加します。県大会は昭和53年から開催されていますが、これまで多くの中学生が、日々の生活やその時々社会問題について、自分の目で見て感じたこと、考えたことを堂々と発表してきました。

(主催/栃木県青少年育成県民会議(公益財団法人とちぎ未来づくり財団)・栃木県・栃木県教育委員会)

栃木県立真岡工業高等学校音楽部

真岡工業高校音楽部のメンバーは、3年生4名、2年生3名、1年生7名の計14名です。ジャズを中心とした様々な楽曲に挑戦しており、校内行事はもちろん、地域の交流行事、市の音楽祭などに参加しています。特に、野球応援や学校公開といった行事においては、学校の盛り上げ役として頑張っています。

部員たちは日々練習を重ね、励まし合い、競い合って腕を磨いています。この努力が、ご来場の皆様の楽しいひとときと、“とちぎ”の未来に貢献することができれば幸いです。



栃木県無形民俗文化財 大日堂獅子舞

「大日堂獅子舞」は真岡市中郷の両部山大日堂に伝わる獅子舞です。大日堂は、もとは日光山にあり、獅子舞も越後の新発田藩主だった溝口氏が日光山の大日堂に奉納したものと言われます。1658年に大日堂が真岡の中郷に移り、獅子頭・獅子舞も真岡の大日堂に伝えられました。この獅子舞は、真岡の地で、悪疫除け、災難除けの獅子舞として、地域の人々の日々の暮らしの拠り所となり、300年を超えて引き継がれてきたそうです。昭和52年には栃木県無形民俗文化財に指定されました。現在も、毎年数回、祭礼や地域行事で舞われています。



元大相撲力士 寺尾 常史氏 (鋤山親方/元関脇 寺尾)

◆生年・出身：1963年2月2日東京都墨田区生まれ(本籍・鹿児島県始良郡加治木町)

◆職歴・経歴：

井筒昭男親方(元・関脇鶴ヶ嶺)の三男。高校2年の夏場所千秋楽に母親を亡くして大相撲入りを決意、母方の姓“寺尾”をシコ名にしました。

1979年、名古屋場所初土俵。1984年、名古屋場所新十両。1985年、春場所新入幕。1989年、春場所関脇。初土俵から1997年春場所まで1359回連続出場(歴代5位)を記録。1999年、初場所で幕内出場回数1222回を数え史上2位。幕内在位15年。2000年、名古屋場所十両に陥落。2001年、春場所で戦後最高齢となる38歳24日での再入幕を果たし、2002年、秋場所を最後に引退。幕内通算626勝753敗16休。2人の兄、鶴嶺山、逆鉾とともに井筒三兄弟として得意の突っ張りで角界をにぎわせました。シコ名=寺尾 常史(テラオ ツネフミ)。殊勲賞3回、敢闘賞3回、技能賞1回受賞、金星は7個。引退後、年寄・鋤山を襲名しました。

